静岡 日本に競り勝つ

SBSカップ2015 国際ユースサッカー

第2日

きのうの結果
静岡 2―1 日本
クロアチア 2―1 スペイン

SBSカップ国際ユースサッカー（日本サッカー協会、県サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送主催、エコパハウス共催）第2日は14日、草薙陸上競技場で2試合を行った。静岡ユースは2―1でU―18（18歳以下）日本代表を制した。U―18クロアチア代表は2―1でU―18スペイン代表に逆転勝ちし、連勝で首位に立った。スペインは連敗。優勝争いは勝ち点5のクロアチア、同4の静岡、同2の日本に絞られた。最終日は16日、エコパスタジアムで静岡―スペイン、日本―クロアチアを行う。

U―18静岡ユース（4）2（2―0、0―1）1（2）U―18日本代表
▽得点者【静】加納2（立川、村松）【日】久保田（浦田）
【評】静岡は少ない好機を確実に生かした。
序盤から日本にボールを支配されたが、前半11分に立川のスルーパスに抜け出した加納が冷静に決めた。40分にも加納が追加点。浦田のパスに相手守備の背後を突いた。シュートは阻止されたが、こぼれ球を押し込んだ。
日本は11本のシュートを放ったが、後半17分の久保田の得点を含め枠内シュートは3本だけ。ボールを保持する時間が続いただけに、工夫のある攻撃を仕掛けたかった。

加納2発 会心カウンター

試合終了の瞬間、割れんばかりの拍手がこだました。静岡ユースが前半に2点を挙げ、日本代表を振り切った。試合前に「（県内の）少年少女、高校年代に夢を持ってもらうサッカーをしよう」と選手を送り出した川口監督（掛川工高教）は、「日本代表に勝って満足感、充実感でいっぱい」と興奮を抑えきれなかった。
勝利の立役者はFW加納だ。「我慢して鋭くカウンターを仕掛けろ」の指示通り、「一発狙ってやろう」（加納）と序盤から最終ラインの背後に抜け出すことだけを意識した。

監督「充実、満足」

前半11分、立川の縦パスに反応し、GKをかわして先制点を奪った。前半終了間際も相手GKがはじいたこぼれ球を冷静に蹴り込み2点目。ゴールへの嗅覚がさえ渡った。
加納は前日のクロアチア戦で前半に途中交代した。「1本もシュートが打てなかった」と自分のプレーをふがいなく思った。悔しさを日本戦にぶつけた。
最終日はスペインと戦う。優勝の可能性はまだある。「誇り、責任を持って戦いたい」と加納の得点力で静岡を頂点に導く。（萩原正司）

U―18日本―静岡ユース　前半11分、先制ゴールを決める静岡ユースの加納（左）＝県営草薙陸上競技場

不覚の日本 速攻に泣く

アルビレックス新潟戦 あす18:00 KICK OFF ＪSPULSE

格下相手に敗れる典型的な試合だった。日本はボールを支配しながら、速攻からの2発に泣いた。内山監督は「美学のサッカーだけで勝てるほど甘くない。中央を固められて攻めてしまう。サイドが攻撃を続ければ、いずれ中央が開くのに」と嘆いた。
主将の坂井も「前半から気付いていれば…。後半は目が覚めたが、サイドを起点にすればもっと楽に戦えたはず」と悔やんだ。後半17分、久保田の得点は浦田の左クロスを一美がスルーして生まれたもの。その後も戦い方を徹底し両サイドから攻め続けたが、時すでに遅しだった。
13日のスペイン戦で岩田、堂安、邦本と3人が負傷したことも影響した。ただ、日の丸を背負う選手に言い訳は許されない。「プライドにかけても負けてはいけなかった。静岡戦がいいシミュレーションだったと言うためにも、経験は必ず今後に生かしたい」と小川。5大会ぶりの出場を目指す2017年U―20（20歳以下）W杯に向け、教訓とする一戦にしたい。（大山雄一郎）

【日本】4・4・2
GK 小藤（早大）
板中（神戸ユース）
浦（川崎）
佐々木（仙台ユース）
坂井（大分）
三好（川崎）
高木（G大阪ユース）
岸本（C大阪ユース）
一美（大津高）
SH 11 島谷（静岡学園高）
CK 3 倉田（川崎F内定）
FK 20 山田（磐田ユース）
G 1 木下（静岡学園高）
【静岡】4・5・1
GK 6 井口（静岡学園高）
7 松田（清水ユース）
13 田下（清水ユース）
上川（磐田ユース）
川谷（東海大翔洋高）
川手（清水ユース）
納（静岡学園高）
加（静岡学園高）
森（磐田ユース）
河（静岡学園高）
長（静岡学園高）
薩（立川）
立（清水ユース）
旗（静岡学園高）
▽交代【静】赤木・飛龍高（薩川）鈴木・飛龍高（加納）荒井・静岡学園高（立川）梅村・清水ユース（長谷川）福井・清水ユース（荒井）【日】久保田・鹿島（三好）小川・桐光学園高（岸本）町田・鹿島ユース（高木）

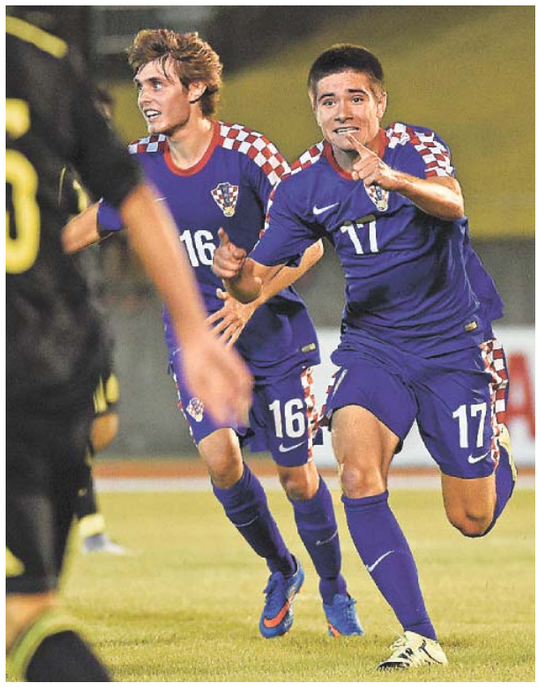
U―18邦本離脱

日本サッカー協会は14日、SBSカップ国際ユースサッカーに出場しているU―18日本代表の邦本宜裕（福岡）がけがのため離脱すると発表した。

クロアチア逆転勝ち

【クロアチア】4・5・1
GK ファイチ
ツツチ
ツツチ
ツツチ
ティリリツィ・マヤ
レクイツィ・ジティ
テクイツィ・ゴンンンチ
マクミルマルビフボ
ノナスキノアスルロ
GK 1 ーモハヤデ
6 ア ルニンレルティルナ
13 リ ソカムオアスペオオパモ
2 レ ヤ ンヤ ィ ナ ゼ ン ィ ー ー
【スペイン】4・5・1
▽交代【ク】アルタミラノ（オンティベロス）ガルシア（ペレス）マルティネス（オヤルサバル）リベラ（モレノ）【ク】ヤキチ（ルツィチ）グルビシチ（フィンティチ）ティン・マティチ（マルコ・マティチ）ユリチ（ブタン）トラヴァリヤ（ボジチ）ビリチ（アルビシチ）

U―18クロアチア代表 2（0―1、2―0）1 U―18スペイン代表（1）
▽得点者【ク】ティン・マティチ（なし）トラヴァリヤ（マグリツア）【ス】ペレス（なし）
【評】クロアチアがスペインを逆転した。
後半26分、交代したばかりのティン・マティチが縦パスを受け、GKをかわし同点。終了間際にトラヴァリヤが右クロスを合わせ勝ち越した。
敗れたスペインは優勝の可能性が消えた。前半21分の得点でリードするなど終始、試合の主導権を握った。だが、相手に少ない好機をものにされた。



選手交代いい結果

U―18クロアチア代表フェルド・ミリン監督の話　前半の内容は悪かったが、選手を入れ替えフォーメーションも変えていい結果になった。最終戦の日本戦も積極的な姿勢で戦う。

ゲームは支配

U―18スペイン代表ルイス・デラフエンテ監督の話　ゲームは支配したが、相手は2回のチャンスで2度ゴールを決めた。次に対戦する静岡はすごくいいチーム。最後はいい試合になるように努めたい。

拘束男性殺害 悼む

○…スペイン―クロアチア戦の試合前、選手はセンターサークルを囲んで黙とうした。過激派組織「イスラム国」傘下のグループが、拉致、拘束していたクロアチア人男性を殺害したとする声明をインターネットで公表したため。観客も黙とうをささげ、冥福を祈った。
クロアチアのフェルド・ミリン監督は「今回の事件は、選手だけでなく全国民が落ち込んでいる。スタジアム全体で黙とうしていただき、感謝している」と話した。

U―18スペイン―U―18クロアチア　試合終了間際、決勝ゴールを決め喜び駆け出すU―18クロアチアのトラヴァリヤ（右）＝県営草薙陸上競技場

平成２７年（２０１５年）８月１５日（土曜日）付け
静岡新聞スポーツ面より